



CASSIOPEIA

# DT-10

---

ライブラリマニュアル for VB

【Bluetooth 編】

Ver 1.00

変更履歴

No	Revision	更新日	項	改訂内容
1	1.00	05/2/23	初版	初版発行
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

目次

1. 概要.....	1
2. 動作環境.....	1
3. 開発環境.....	1
4. 提供ファイル .....	1
5. Bluetooth VB 用ライブラリ .....	2
5-1.使用方法.....	2
5-2.ライブラリ一覧.....	2
5-3.構造体リファレンス .....	2
BTST_LOCALINFO構造体 .....	3
BTST_DEVICEINFO構造体 .....	3
5-4.関数リファレンス .....	4
BTInitialize .....	5
BTDeInitialize.....	6
BTGetLocalInfo .....	7
BTSetLocalInfo .....	8
BTInquiry .....	9
BTGetDeviceInfo .....	10
BTGetServiceInfo.....	11
BTSelectDevice .....	12
BTSetPassKey.....	13
BTTrustDevice .....	14
BTGetLastError .....	15
BTRegisterLocalInfo .....	16
BTRegisterDeviceInfo.....	17
BTSearchDeviceInfo .....	18
BTDeleteDeviceInfo .....	19
BTGetDefaultDeviceInfo .....	20
BTSetDefaultDevice.....	21

## 1. 概要

このライブラリはモバイル抽象化 API の Bluetooth.NET クラスライブラリです。VisualStudio .NET2003 VB 開発環境で利用するためのクラスライブラリ仕様について述べたものです。

## 2. 動作環境

■機種 DT-10

■OS Windows Mobile 2003 Second Edition Software for PocketPC

## 3. 開発環境

■Microsoft Visual Studio 2003 + Windows CE Utilities for Visual Studio .NET 2003 アドオン パック

## 4. 提供ファイル

クラスライブラリとして、以下のライブラリを提供します。

ライブラリ名	クラスライブラリ
Bluetooth VB 用クラスライブラリ	BluetoothLibNet.dll
Bluetooth ライブラリ	BluetoothLib.dll
Bluetooth ライブラリ	BTLib.dll

## 5. Bluetooth VB 用ライブラリ

### 5-1.使用方法

・開発環境において、参照設定に「BluetoothLibNet.dll」を追加し、関数は、Calib.BluetoothLibNet.Api.関数名として呼び出し、定義値は、Calib.BluetoothLibNet.Def.定義値と呼び出しアプリケーションを作成します。また、「BluetoothLibNet.dll」は実行時にも作成したアプリケーションと同一のフォルダ内に入れます。事前に、「BluetoothLib.dll」、「BTLib.dll」を DT-10 の Windows フォルダにコピーしてください。

### 5-2.ライブラリ一覧

関数名	機能
BTInitialize	Bluetooth プロトコルスタックを初期化します。
BTDeinitialize	Bluetooth プロトコルスタックのリソースを解放します。
BTGetLocalInfo	本体の Bluetooth デバイス情報を取得します。
BTSetLocalInfo	本体の Bluetooth デバイス情報を設定します。
BTInquiry	Bluetooth 機器の Inquiry（問い合わせ）を実行します。
BTGetDeviceInfo	接続する Bluetooth 機器の情報を取得します。
BTGetServiceInfo	接続する Bluetooth 機器のサービス情報を取得します。
BTSelectDevice	接続する Bluetooth 機器を指定します。
BTSetPassKey	本体の PassKey を設定します。
BTTrustDevice	指定した Bluetooth 機器に対してデバイスの信頼を行います。
BTGetLastError	エラーが発生した場合に詳細情報を取得します。
BTRegisterLocalInfo	本体の Bluetooth デバイス情報をレジストリに登録します。
BTRegisterDeviceInfo	Bluetooth 機器の情報をレジストリに登録します。
BTSearchDeviceInfo	Bluetooth 機器の情報をレジストリから検索して取得します。
BTDeleteDeviceInfo	Bluetooth 機器の情報をレジストリから削除します。
BTGetDefaultDeviceInfo	デフォルトで通信する Bluetooth 機器の情報を取得します。
BTSetDefaultDevice	デフォルトで通信する Bluetooth 機器を設定します。

### 5-3.構造体リファレンス

次ページより関数で利用する構造体について説明します。

構造体以外の設定値詳細については、Bluetooth ライブラリマニュアル（C++用）を参照願います。

## BTST\_LOCALINFO 構造体

DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報を格納する構造体です。

**Public Class BTST\_LOCALINFO**

<b>String</b>	<b>LocalName</b>	Bluetooth 機器名
<b>String</b>	<b>LocalAddress</b>	Bluetooth 機器アドレス
<b>Integer</b>	<b>LocalDeviceMode</b>	Bluetooth デバイスモード
<b>Integer</b>	<b>LocalClass1</b>	Bluetooth デバイスクラス 1(ローカル)
<b>Integer</b>	<b>LocalClass2</b>	Bluetooth デバイスクラス 2(ローカル)
<b>Integer</b>	<b>LocalClass3</b>	Bluetooth デバイスクラス 3(ローカル)
<b>Boolean</b>	<b>Authentication</b>	Bluetooth 認証設定フラグ
<b>Boolean</b>	<b>Encryption</b>	暗号設定フラグ

**End Class**

BTST\_LOCALINFO 構造体を使用する関数は以下の通りです。

**BTGetLocalInfo**

**BTSetLocalInfo**

## BTST\_DEVICEINFO 構造体

通信する Bluetooth デバイスの情報を格納する構造体です。

**Public Class BTST\_DEVICEINFO**

<b>Integer</b>	<b>DeviceErrorFlag</b>	エラーフラグ
<b>IntPtr</b>	<b>DeviceHandle</b>	デバイスハンドル
<b>String</b>	<b>DeviceName</b>	Bluetooth 機器名
<b>String</b>	<b>DeviceAddress</b>	Bluetooth 機器アドレス
<b>Integer</b>	<b>DeviceClass1</b>	Bluetooth デバイスクラス 1(通信先)
<b>Integer</b>	<b>DeviceClass2</b>	Bluetooth デバイスクラス 2(通信先)
<b>Integer</b>	<b>DeviceClass 3</b>	Bluetooth デバイスクラス 3(通信先)
<b>Integer</b>	<b>ProfileNumber</b>	使用可能なプロファイルの数
<b>Short</b>	<b>ProfileUUID ()</b>	使用可能なプロファイルの種類

**End Class**

BTST\_DEVICEINFO 構造体を使用する関数は以下の通りです。

**BTGetDeviceInfo**

BTGetServiceInfo  
BTSelectDevice  
BTTrustDevice  
BTRegisterDeviceInfo  
BTSearchDeviceInfo  
BTDeleteDeviceInfo  
BTGetDefaultDeviceInfo  
BTSetDefaultDevice  
BTCreateBond

#### 5-4.関数リファレンス

次ページより関数リファレンスを説明します。

仮想 COM ポートで使用するシリアル通信関数については、Windows API 関連の資料を参照してください。

関数リファレンスの表記について

**[in / out]**、**[in]**、**[out]**の表記の意味

[in/out]は、この引数が入力、出力両方あることを表しています。

[in]は、この引数が入力を表します。

[out]は、この引数が出力になることを表します。

## BTInitialize

---

**機能** DT-10 本体の Bluetooth デバイスの使用を開始します。Bluetooth 仮想 COM ポートも初期化されます。他の Bluetooth 機器との接続および通信を行う前に、最初にこの関数を必ず実行してください。

**書式** `BTInitialize ( ) As Int32`

**パラメータ** なし

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	初期化に失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー



## BTDeInitialize

---

**機能** DT-10 本体の Bluetooth デバイスの使用を終了します。Bluetooth 仮想 COM ポートも使用できなくなります。

他の Bluetooth 機器との通信終了後、最後にこの関数を必ず実行してください。

**書式** BTDeInitialize ( ) As Int32

**パラメータ** なし

<b>戻り値</b> <b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
<b>BTERR_FAILED</b>	リソース解放に失敗
<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
<b>FUNCTION_UN SUPPORT</b>	未サポートエラー

**備考** 本関数を実行しないでユーザアプリケーションを終了した場合、次回 BTInitialize 関数を実行したときにエラーが発生して、DT-10 本体の Bluetooth デバイスが使用できなくなる可能性があります。

## BTGetLocalInfo

---

**機能** DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報を取得します。本関数では、BTST\_LOCALINFO 構造体の全てのメンバが取得されます。

Bluetooth デバイスモードおよび Bluetooth デバイスクラスにおいて取得可能なパラメータについては、Bluetooth ライブラリマニュアル（C++編）7-2 を参照してください。

**書式** **BTGetLocalInfo (ByVal LocalInfo As BTST\_LOCALINFO) As Int32**

**パラメータ** **LocalInfo**            **[out]**    DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	デバイス情報取得失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

## BTSetLocalInfo

---

**機能** DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報を設定します。本関数を実行する前に、BTGetLocalInfo 関数を実行して、現在の Bluetooth デバイス情報を取得してください。

本関数では、BTST\_LOCALINFO 構造体のメンバのうち、Bluetooth アドレスを除く全てのデバイス情報が設定されます。Bluetooth デバイスモードおよび Bluetooth デバイスクラスにおいて設定可能なパラメータについては、Bluetooth ライブラリマニュアル（C++編）7・2 を参照してください。

**書式** `BTSetLocalInfo (ByVal LocalInfo As BTST_LOCALINFO) As Int32`

**パラメータ** `LocalInfo` [in] 設定する DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	デバイス情報設定失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UN SUPPORT</b>	未サポートエラー

**備考** Bluetooth デバイス情報のうち、Bluetooth 機器アドレスは変更しないでください。Bluetooth 機器アドレスを変更して本関数を実行すると、エラーとなります。

暗号設定フラグは、Bluetooth 認証フラグが有効の場合のみ、設定が可能です。Bluetooth 認証フラグが無効の場合は、暗号設定フラグを無効に設定してください。

## BTInquiry

---

**機能** Bluetooth 機器の Inquiry (問い合わせ) を実行します。

**書式** `BTInquiry (ByVal DeviceHandle() As IntPtr, ByRef DeviceNumber As Int32, _  
ByVal InquiryTime As Integer) As Int32`

**パラメータ** **DeviceHandle** [in] IntPtr[] の配列を用意する (ダミー)

**DeviceNumber** [out] Inquiry で発見された Bluetooth 機器の数を格納する変数

**InquiryTime** 常に 0 を設定してください

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	Bluetooth 機器の Inquiry 失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

**備考** DeviceNumber で小さい値を指定すると、Inquiry に成功した Bluetooth 機器のデバイスハンドルが完全には取得できない場合があります。Inquiry 時に発見されると想定される Bluetooth デバイスの個数よりも大きい値を指定してください。

## BTGetDeviceInfo

---

**機能** BTInquiry 関数で発見された Bluetooth 機器のデバイス情報を取得します。BTInquiry 関数を実行後、必ず本関数を実行して Bluetooth 機器情報を取得してください。

本関数で取得できるデバイス情報は、以下の通りです。Bluetooth デバイスクラスにおいて取得可能なパラメータについては、Bluetooth ライブラリマニュアル (C++編) 7-2 を参照してください。

- ・ Bluetooth 機器名
- ・ Bluetooth 機器アドレス
- ・ Bluetooth デバイスクラス

**書式** `BTGetDeviceInfo (ByVal DeviceInfo() As BTST_DEVICEINFO, _  
ByVal DeviceNumber As Integer, ByVal DeviceHandle As IntPtr) As Int32`

**パラメータ** **DeviceInfo** `[out]` Bluetooth 機器情報を格納する構造体変数  
BTInquiry 関数で取得した Bluetooth 機器の数分、配列として用意してください。

**DeviceNumber** `[in]` BTInquiry 関数で取得した Bluetooth 機器の数

**DeviceHandle** 常に 0 を設定してください

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	Bluetooth 機器情報取得失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

## BTGetServiceInfo

---

- 機能** 通信する Bluetooth 機器のサービス情報を取得します。取得可能なサービスクラスパラメータについては、抽象化ライブラリ 4-7-2 を参照してください。  
本関数を実行する前に、BTGetDeviceInfo 関数を実行して、サービス情報以外のデバイス情報をあらかじめ取得してください。
- 書式** `BTGetServiceInfo (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO) As Int32`
- パラメータ** `DeviceInfo` [in / out] Bluetooth 機器情報
- 戻り値**
- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| <code>BTERR_SUCCESS</code>        | 正常終了                   |
| <code>BTERR_FAILED</code>         | Bluetooth 機器サービス情報取得失敗 |
| <code>BTERR_DRIVER</code>         | ドライバーエラー               |
| <code>FUNCTION_UNSUPPORTED</code> | 未サポートエラー               |
- 備考** 本関数を実行しなくても、Bluetooth 機器との接続を行うことは可能です。サポートしている通信プロファイルの種類をチェックする場合に使用してください。  
Bluetooth 機器によっては、SDP(Service Discovery Profile)をサポートしない等の理由で、使用可能なプロファイルの情報を取得できない場合があります。  
本関数を実行後、再び BTGetDeviceInfo 関数を実行すると、引数に格納された Bluetooth サービス情報は消去されてしまいます。

## BTSelectDevice

---

**機能** 接続する Bluetooth 機器を指定します。Bluetooth 通信を開始する前にこの関数を実行して、接続する Bluetooth 機器を選択してください。

**書式** `BTSelectDevice (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO, _  
 ByVal PortName As String) As Int32`

**パラメータ**

<b>DeviceInfo</b>	<b>[in]</b> 接続する Bluetooth 機器の情報 デフォルトの Bluetooth 機器を指定する場合、NULL を指定する
<b>PortName[in]</b>	接続する通信ポート 以下の中から一つを指定する <b>BTPORT_SERIAL</b> 仮想シリアル <b>BTPORT_DIALUP</b> ダイアルアップ

**戻り値**

<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
<b>BTERR_FAILED</b>	Bluetooth 機器の指定に失敗
<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

**備考** この関数を実行しない場合、BTSetDefaultDevice 関数で設定したデフォルトの Bluetooth 機器が、接続する Bluetooth 機器として指定されます。

## BTSetPassKey

---

**機能** DT-10 本体の PassKey を設定します。PassKey は、DT-10 本体で他の Bluetooth 機器とのボンドを実行する場合、および他の Bluetooth 機器から PassKey 要求があったときに使用されます。パラメータの設定により、他の Bluetooth 機器からの PassKey 要求を拒否することが可能です。設定した PassKey は、BTSetPassKey 関数および BTDeInitialize 関数を実行するまで有効です。

**書式** `BTSetPassKey (ByVal PassKey As String) As Int32`

**パラメータ** `PassKey [in]` 設定するパスキー  
NULL または空文字列("")を指定した場合、他の Bluetooth 機器からの PassKey 要求を拒否する

<b>戻り値</b>	<b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>	PassKey の設定に失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

**備考** BTTrustDevice 関数を実行する前に、必ず本関数を実行してください。  
他の Bluetooth 機器から DT-10 へ PassKey 要求が必要となる場合は、事前に本関数を実行して PassKey を設定してください。



## BTTrustDevice

---

**機能** DT-10 本体から、指定した Bluetooth 機器との信頼を行います。

**書式** `BTTrustDevice (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO, _  
ByVal PortName As String) As Int32`

**パラメータ** **DeviceInfo** **[in]** デバイスの信頼を実行する Bluetooth 機器の情報  
NULL を指定した場合、デフォルトの Bluetooth 機器とのデバイスの信頼を実行する

**PortName** **[in]** デフォルトで通信する設定をした通信ポート  
DeviceInfo で NULL を指定した場合のみ、以下の中から一つを指定する

<b>BTPORT_SERIAL</b>	仮想シリアル
<b>BTPORT_DIALUP</b>	ダイヤルアップ

<b>戻り値</b> <b>BTERR_SUCCESS</b>	正常終了
<b>BTERR_FAILED</b>	Bluetooth 機器とのボンドに失敗
<b>BTERR_DRIVER</b>	ドライバーエラー
<b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b>	未サポートエラー

**備考** 関数を実行する前に、BTSetPassKey 関数を必ず実行して、ボンド実行時に使用される PassKey を設定しておいてください。

PassKey を設定していない場合、または BTSetPassKey 関数でパラメータに NULL または空文字列(“”)を指定した場合、本関数はエラーを返します。

通信先の Bluetooth 機器からボンド要求があった場合、BTSetPassKey で設定した PassKey を自動的に送信するので、本関数を実行する必要はありません。

## BTGetLastError

---

**機能** Bluetooth ライブラリ関数呼び出しで発生したエラー詳細を取得します。

**書式** BTGetLastError() As Int32

**パラメータ** なし

**戻り値** エラーコード詳細が、戻ります。

**FUNCTION\_UN SUPPORT** 未サポートエラー

## BTRegisterLocalInfo

---

- 機能** DT-10 本体の Bluetooth デバイス情報をレジストリに登録します。  
登録したデバイス情報は、次回 BTInitialize 関数を実行したときに再設定されます。
- 書式** `BTRegisterLocalInfo () As Int32`
- パラメータ** なし
- 戻り値**
- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| <b>BTERR_SUCCESS</b>       | 正常終了       |
| <b>BTERR_FAILED</b>        | デバイス情報登録失敗 |
| <b>BTERR_DRIVER</b>        | ドライバーエラー   |
| <b>FUNCTION_UN SUPPORT</b> | 未サポートエラー   |
- 備考** Bluetooth デバイス情報を変更してレジストリに登録する場合は、本関数を実行する前に `BTSetLocalInfo` 関数を実行して、Bluetooth デバイス情報を変更してください。

## BTRegisterDeviceInfo

---

機能	Bluetooth 機器の情報をレジストリに登録します。		
書式	<b>BTRegisterDeviceInfo (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO) As Int32</b>		
パラメータ	<b>DeviceInfo</b>	[in]	登録する Bluetooth 機器の情報
戻り値	<b>BTERR_SUCCESS</b>		正常終了
	<b>BTERR_FAILED</b>		Bluetooth 機器情報のレジストリへの登録失敗
	<b>BTERR_DRIVER</b>		ドライバーエラー
	<b>FUNCTION_UN SUPPORT</b>		未サポートエラー
備考	登録する Bluetooth 機器情報の Bluetooth アドレスがすでにレジストリに登録されている場合、以前登録した Bluetooth 機器情報は上書きされます。		

## BTSearchDeviceInfo

- 機能** 検索キーを指定して、Bluetooth 機器の情報をレジストリから検索して取得します。  
検索キーと一致する Bluetooth 機器情報の数のみを取得することも可能です。
- 書式** `BTSearchDeviceInfo (ByVal DeviceInfo() As BTST_DEVICEINFO, _  
ByRef DeviceNumber As Integer, ByVal SearchKey As String) As Int32`
- パラメータ**
- |                     |                   |  |
|---------------------|-------------------|--|
| <b>DeviceInfo</b>   | <b>[in / out]</b> | キーと一致した Bluetooth 機器の情報<br>DeviceNumber で指定した数以上の配列を用意する<br>NULL を指定した場合、キーと一致した Bluetooth 機器の数のみを返す           |
| <b>DeviceNumber</b> | <b>[in / out]</b> | 取得する Bluetooth 機器情報の最大値を設定する<br>実行後、キーと一致した Bluetooth 機器の数が格納される   |
| <b>SearchKey</b>    | <b>[in]</b>       | Bluetooth 機器情報検索キー<br>Bluetooth アドレスまたは Bluetooth 機器名を指定する<br>NULL を指定した場合、レジストリに登録されている全ての Bluetooth 機器の情報を返す |
- 戻り値**
- |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>BTERR_SUCCESS</b>        | 正常終了                        |
| <b>BTERR_FAILED</b>         | Bluetooth 機器情報のレジストリからの検索失敗 |
| <b>BTERR_DRIVER</b>         | ドライバーエラー                    |
| <b>FUNCTION_UNSUPPORTED</b> | 未サポートエラー                    |
- 備考** Bluetooth 機器情報を格納する構造体の変数は、配列として用意してください。  
DeviceNumber で小さい値を指定すると、キーと一致した Bluetooth 機器情報が完全には取得できない場合があります。キーと一致すると想定される Bluetooth デバイスの個数よりも大きい値を指定してください。
- 検索キーと一致する Bluetooth 機器情報の数が予想できない場合には、最初に検索キーと一致する Bluetooth 機器情報の数のみを取得してください。その後、Bluetooth 機器情報を格納する構造体の変数を動的に確保し、再度同じ検索キーを使用して Bluetooth 機器情報を取得してください。

## BTDeleteDeviceInfo

---

- 機能** 指定した Bluetooth 機器の情報をレジストリから削除します。
- 書式** `BTDeleteDeviceInfo (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO) As Int32`
- パラメータ** `DeviceInfo` [in] 削除する Bluetooth 機器の情報を格納する構造体
- 戻り値**
- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| <code>BTERR_SUCCESS</code>       | 正常終了                        |
| <code>BTERR_FAILED</code>        | Bluetooth 機器情報のレジストリからの削除失敗 |
| <code>BTERR_DRIVER</code>        | ドライバーエラー                    |
| <code>FUNCTION_UN SUPPORT</code> | 未サポートエラー                    |
- 備考** 指定する Bluetooth 機器情報は、`BTSearchDeviceInfo` 関数を使用して取得してください。  
引数として使用する Bluetooth 機器情報が、レジストリに登録されている Bluetooth 機器情報と一致しない場合、エラーとなります。

## BTGetDefaultDeviceInfo

---

**機能** デフォルトで通信する Bluetooth 機器の情報を取得します。

**書式** `BTGetDefaultDeviceInfo (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO, _  
ByVal PortName As String) As Int32`

**パラメータ** **DeviceInfo** [out] デフォルトの Bluetooth 機器の情報を取得する構造体

**PortName[in]** デフォルトの Bluetooth 機器と通信するときの通信ポート

以下の中から一つを指定する

**BTPORT\_SERIAL** 仮想シリアル

**BTPORT\_DIALUP** ダイアルアップ

**戻り値** **BTERR\_SUCCESS** 正常終了

**BTERR\_FAILED** デフォルトで通信する Bluetooth 機器情報の取得失敗

**BTERR\_DRIVER** ドライバーエラー

**FUNCTION\_UN SUPPORT** 未サポートエラー

**備考** デフォルトで通信する Bluetooth 機器を設定していない場合、エラーとなります。

## BTSetDefaultDevice

---

**機能** デフォルトで通信する Bluetooth 機器を設定します。  
 本関数で設定したデフォルトの Bluetooth 機器は、次回 BTInitialize 関数を実行したときに有効となります。

**書式** `BTSetDefaultDevice (ByVal DeviceInfo As BTST_DEVICEINFO, _  
 ByVal PortName As String) As Int32`

**パラメータ** **DeviceInfo** [in] デフォルトに設定する Bluetooth 機器の情報を格納する構造体  
 NULL を指定した場合、デフォルトで通信するデバイスを設定しない

**PortName[in]** デフォルトの Bluetooth 機器と通信するときの通信ポート  
 以下の中から一つを指定する

<b>BTPORT_SERIAL</b>	仮想シリアル
<b>BTPORT_DIALUP</b>	ダイヤルアップ

**戻り値** **BTERR\_SUCCESS** 正常終了  
**BTERR\_FAILED** デフォルトで通信する Bluetooth 機器情報の設定失敗  
**BTERR\_DRIVER** ドライバーエラー  
**FUNCTION\_UNSUPPORTED** 未サポートエラー

**備考** 本関数を実行しても、BTSelectDevice 関数を使用して接続先として指定した Bluetooth 機器は変更されません。  
 関数を実行する前に、BTRegistDeviceInfo 関数を実行して、Bluetooth 機器情報をレジストりに登録しておく必要があります。  
 関数で使用する Bluetooth 機器情報は、BTSearchDeviceInfo 関数を使用して取得してください。  
 Bluetooth 機器情報がレジストりに登録されている Bluetooth 機器情報と一致しない場合、エラーとなります。



**DT-10**

ライブラリマニュアル for VB

**【Bluetooth 編】**

Ver1.00

発行元：カシオ計算機株式会社

〒162-8543

東京都渋谷区本町 1-6-2

システムソリューション営業統轄部